

令和7年度最適化活動の目標の設定等について

都道府県名： 愛媛県
 農業委員会名： 西予市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和4年4月25日

任期満了年月日 令和7年4月24日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	13
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	0
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	19	18	18

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,804
農業経営体数	1,891

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	2,366
女性	862
40代以下	93

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	377
基本構想水準到達者	—
認定新規就農者	23
農業参入法人	49
集落営農経営	46
特定農業団体	0
集落営農組織	46

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,000	2,120			4,120

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	4,120	ha	2,048	ha	49.7	%
課題	相続登記の義務化により遠隔地に居住する所有者から農地を売りたい・貸したいという要望が急増しているが、農業従事者の高齢化により受け手が見つからない現状にある。さらに中核的担い手のリタイアが相次いでおり、地域内農地の空洞化を防ぐ取り組みが急務である。担い手の確保・育成、集落営農の組織化や法人化の推進はもちろん、農業経営を圧迫する資材の高騰対策も課題である。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	12	年度	集積率	50	%
今年度の新規集積面積	50	ha	農地面積(C)	4,120	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,098	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	50.9	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況			
	1号遊休農地面積		うち黄区分の遊休農地面積	
	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積	
	0.92	ha	0.62 ha	0.30 ha
課題	所有者の高齢化に伴い、現地の状況(山中にある・不形成である)が耕作に適していないため耕作を断念している事例が多く、そこに新たな耕作者が現れないことが問題である。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	13.50	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.70	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0	ha
--------------------------	---	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	現在のところ定めていない。
-------------------------	---------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.15	ha
---------------------------	------	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	4年度新規参入者	5年度新規参入者	6年度新規参入者
	2 経営体 1.1 ha	5 経営体 1.7 ha	5 経営体 4.3 ha
課題	営農に興味がある就農希望者へのさらなるPR及び技術・経営手法習得の継続的支援、優良農地や有利な資金の確保・提供。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
	186.2 ha	169.3 ha	210.7 ha	188.5 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			18.8 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	5 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の人数	19 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	2 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月・9月	②遊休農地の解消	担当地域の現状把握・農地パトロールの実施
通年	①農地の集積	地域計画の協議への参画

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回		
開催時期	8月頃	相談会名	農林漁業合同就業相談会
参加者数	10名程度	開催場所	大阪府
相談会の内容	農林水産業への就業に関する相談会		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)